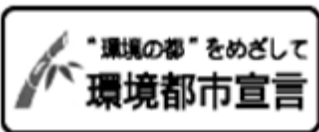


# 環境の都ニュース

2011. 11. 1 NO. 60



発行：長岡京市  
環境の都づくり会議  
発行責任者：江川 宗治  
編集担当者：山本 雅夫

## 20年後の環境未来へ

私が環境政策監に異動して、間もなく2度目の秋が終わります。

昨年度は「地球温暖化対策実行計画」の策定に携わり、今年度からは、「環境基本計画」の改定を行うことになりました。

当然ですが、計画は書いて仕上げたものではなく、実行されてこそそのものです。そのためには、策定段階から、多くの人に関心を持ってもらい、実行に移してもらおう取組みが必要だと考えました。

その取組みの一環として、10月15日・16日に京都府下では初めて、「市民議会方式」によるワークショップを開催しました。これを「長岡京 市民まちづくりセッション」と名付け、市の若手職員で企画を担いました。

テーマは、「20年後の環境未来へ」。20代～80代までの老若男女37名の方が参加して下さいました。「市民議会方式」の特徴は、①公募ではなく、裁判員制度のように、

「無作為」で選ばれた市民の方に依頼書を送る点②有報酬である点（2日間で6000円）③意見交換の前に専門家や行政から情報提供をする点です。

これまでの参加者は、広報等を通じて自ら応募する、意欲と条件の合う方が中心でした。しかし、無作為で選ばれた市民の方が参加するこの手法では、生活に身近な、率直な考えを行政に伝えることができる点で画期的であると考えます。

様々な不安はありましたが、当日を迎えてみると、和気あいあいとした雰囲気でした。話し合い、提案をし、発表して下さいました。

また、参加者のほぼ全員が、主催のワークショップなどに初参加というこれまでにないワークショップとなりました。それと同時に長岡京市の新たな市民参加の可能性を感じました。

田邊 八千代

(環境政策監計画調整担当)



長岡京市初+京都府初の取組みでした。



老若男女7～8名のグループで話し合いを行いました。



## 花を咲かそう PJ



### JR駅前に花飾り 10月15日(土)

第26回国文化祭・京都2011に向けて、JR長岡京駅前の道路沿いにスマレ、なでしこの花、232本を竹筒に植え「花いっぱい」を演出。

駅前通りの18箇所の樹木の根元に夫々12本程の竹筒を縄で固定し、花を植えています。この後、文化祭期間中は、古市町自治会の御協力をいただき水やりを行い花を維持管理します。

報告 花を咲かそうPJ 湯川智子

### 空中庭園で花いっぱい

知られざる景勝ポイント、西山公園体育館2階庭園の花々が見事な咲きっぷりです。9月の日照と乾燥で弱っていた花々でしたが、炎天下の水遣り、枯れ花の摘み取りなどサポーターの日々の世話で見事に復活しました。マリーゴールドの雲海の下に市内が展望できる空中庭園は今まさに三ツ星ものです。(写真右)

発信者(緑のサポーター) 奥西



## エコチーム PJ

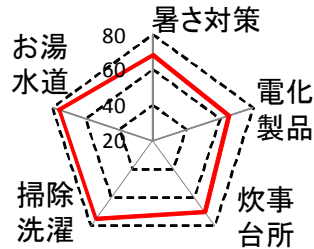


### 「省エネ相談会」

市役所案内横で家庭の省エネ相談会を実施。(9月9日) 御家庭の光熱費と省エネ取組みや行動を聞き、更に節電・省エネ出来る工夫や機器情報提供を行いました。

34名の相談を実施。電気料金は京都府南部地域の(昨年夏の)平均値の80%でした。省エネ取組みはグラフ(右図)のとおり、即実行困難な「電化製品(省エネタイプへの買換え)」以外は高得点でした。

省エネ実行度  
(満点:100)



相談会には京都府地球温暖化防止センターの木原さん、京都府庁の守本さんにご支援をいただきました。次回の省エネ相談会は環境フェア(12月3日)で開催予定です。(文 山本)

### リサイクル工作シリーズに「びっくり箱」が登場し好評

クリーンプラザおとくにで開催された「リサイクルフェア」(10月16日)に参加しました。今回も使用済み牛乳パックを使用した毎年恒例の「リサイクル工作」を行いました。

出し物は皆さんから好評の「パッチンかえる」「紙とんぼ」「ぶんぶんこま」に加え、新しく「びっくり箱」を作っていました。箱の中から飛び出すへび(?)に、作った子供さん自身もびっくりしていました。

スタッフ全員休む暇もないほどたくさんの方の親子の方に参加していただき、いつもながら楽しいイベントでした。(文 田原)



### 自然と人間の共存をねがって 蝶の写真展

9月21日から25日まで「蝶の写真展」が長岡京市バンビオ・市民ギャラリーで開催されました。“乙訓の里山から地球環境を考える”件とし、4つのゾーンで展示しました。

向日市在住で(株)村田製作所社長の村田泰隆氏が「世界で、また長岡京市奥海印寺で撮影された“自然と蝶”の写真39点」をスタートとし“乙訓の自然”“蝶が消えていく”“地球環境”を美しい蝶と地元里山の自然の写真を観て考えてもらうようにしました。

初日は台風上陸にもかかわらず村田泰隆氏が来場され作品の説明を受けました。“乙訓の自然”から“蝶の減少・絶滅”“地球環境”のゾーンも熱心にご覧になって思いを語られ、「私達の生活を少しガマンして自然を守っていききたい」とのコメントを頂きました。

5日間では次第に来場者も増え1,500名を越す幅広い年齢層の皆さんにご覧頂くことが出来ました。来場者の約半数の方々から嬉しいコメントが多いアンケートを頂きました。会場の出口ではホットな思いをポストイットに書き大きな蝶に貼り願いを託していただきました。(写真右)

企画・運営を行った「自然と人間の共存環境実行委員会」(長岡京市環境の都づくり会議、同市民活動サポートセンター、西山森林整備推進協議会)では今後も“自然と人間の共存をねがって”環境活動を続けたいとしています。来場くださった皆さん、ありがとうございました。(文 中田)



美しい蝶と背景に魅せられる



# 第7回里山工作教室発表会

出品作品 約50点

9月24日(土) 10時~16時 サポートセンターで優れた作品の表彰を行った。  
 参加者全体; 50名、スタッフ等; 16名 (丹羽、寺澤さん奥様、瀧、須田、川浪、藤井、井上、大藪、藤田、河上、橋本、松村、平井、石井、南、加藤)  
 成蹊大学; 門脇教授、環境の都づくり会議; 江川、市役所; 北川  
 子どもの部 金賞…島田さん(小5) …2階建て、庭付きでつくりこみが丁寧。  
 銀賞…十倉さん(小1)、高田さん(小1)、銅賞…広瀬君(10才)、川原君(小1)、尾迫君(4才)  
 大人の部 金賞…井上さん(竹鳥かご、額、すだれ飾りの3点) 銀賞…武智さん、銅賞…北川氏、北川さん  
 西山森林整備推進協議会表彰 子どもの部; 島田君(小4)、大人の部; 寺澤氏(故人)  
 大阪成蹊大学センス大賞表彰 子どもの部; 大田さん(小1)、大人の部; 大藪さん



(報告 里山再生PJ 加藤)



## 乙訓水辺フェスティバル

10月9日(日) 9時~16時 JC主催 淀川河川敷公園  
 環境の都づくりスタッフ 7名 (塩見、河上、丹羽、山下、松村、南、加藤)  
 実演と展示を行い終日賑わいました。実演内容は以下の通り  
 ① 竹紙すき…約60名 ② 木の輪切り、ペンダントづくり、…100名超  
 ③ 木の実の名前あて…約20名

竹紙つくりの概要; 孟宗や真竹の青若竹を5月末に伐採、節をとって四つ割ていどに。→石灰を入れた溜まり水に1年以上漬けておく。→分離した繊維をカセイソーダを入れて1日以上煮る。→流水にさらし(2~3日)た繊維を石臼で餅状になるまで木槌で細かくする。→水とかくはんしたものをすき桶に入れ紙漉きをします。左写真) (報告 里山再生PJ 加藤)

## ドングリ拾い (広葉樹による里山林再生へ)

10月20日 出席者 9名 丹羽、小川、瀧、林、山下、松村、南、石井、加藤  
 神足小学校3年生3クラス88名のドングリ拾い、苗木育成のサポートを行いました。  
 西山森林整備推進協議会、森林総合研究所協働の「里山維持システム構築のための実践的研究」の一環です。  
 最初に奥海印寺の桜橋付近でクヌギの実を拾いました。西山キャンプ場では、森の中でコナラの実の採取、落ち葉集め、柴集め、木の輪切りのペンダントづくりをして大喜びでした。(写真右) 学校に帰った後はクヌギやコナラをポットに植え、1~2年後に植林する予定です。(報告 里山再生PJ 加藤)



## 長法寺小学校 桜(古木)のお世話を

10月26日長法寺小学校運動場桜の枯れ枝伐採をしました。  
 参加者: 8名、平井、山下、上田、林、南、松村、片岡、加藤  
 運動場東側の桜(ソメイヨシノ)並木の枯れ枝を処理しました。はしご、三脚、チェーンソーを使用、一部表街道にはみ出ている枯れ枝については道路で見張り番をしながらの作業となりました。  
 長法寺小学校は長岡京で一番古く1872年(明治5年)創立で、今年で139年目。もともと村の方々がつくってきた学校で、プールや運動場も最初は手づくりです。翌年神足小学校ができました。運動場の桜は1949年(昭和24)運動場の拡張時に植えられたものです。  
 60年以上の古木ということになります。  
 (報告 里山再生PJ 加藤)

## 第4回 西山ファミリー環境探検隊

10月30日光明寺放生池西側雑木林一帯にて  
 西山森林整備推進協議会主催  
 参加者 51名 公募参加者 親子25名 市役所3名  
 乙訓の自然を守る会18名 市民活動サポートセンター4名  
 環境の都づくり会議 1名  
 今回は「秋の西山で木の实を拾おう」…秋の自然観察とたき火…をテーマに「乙訓の自然を守る会」に全面的にご協力いただきました。  
 森の手入れのお話の後、会の代表の宮崎さんから明るい森と暗い森、虫の害、鹿の食害のお話等がありました。京都府では年間1万頭以上、鹿を駆除しているが若木が食べられてしまう被害が減らない事も教えていただきました。  
 (報告 里山再生PJ 加藤)



## 環境教育ミーティング開催のお知らせ

第58回環境教育ミーティングを金澤良彦さん講師で開催します。  
 期日は: 11月17日(木) 夜7時~9時、場所: 長岡京市中央公民館2階講座室  
 お話: 日本列島エコ徒歩縦断(II)、エコの取組み、東日本震災地・他  
 講師プロフィールは多面、多彩で簡単には紹介出来ません。環境教育ミーティングのお知らせ(チラシ)をご覧ください。社会に有用で好きなことを実行されてます。(人生の達人?)

## 57回環境教育ミーティング結果

第57回環境教育ミーティングは9月15日、西澤浩美さん講師で開催しました。  
 「地域で育てる子どもの環境活動」との題で木津川市子どもエコクラブサポーターの会が  
 取組む子どもの環境活動(里山活動・自然観察会・リサイクル工作)の実践を背景に地域で子どもたちの環境活動を支える意義についてお話をいただきました。

日本列島エコ徒歩縦断中の金澤さん





## すくすく教室 小泉川の自然観察

9/10(土) 長法寺小のすくすく教室の子供達を連れて、小泉川に水質、水性生物調査を実施しました、当日も外気温34度と猛暑の中でしたが、流石に谷川沿いは26度、水温



20度と大変涼しい環境でした。川の水は夏枯れで水量も少なく例年と同じ、環境でした。試薬を使って水質調査結果PHは、谷川の水も水道水もBTB 7.0と同じ数値で綺麗な水である事が分かりました。  
(報告 小根田)

## ビオトープの見学

10/17(月) 海印寺保育園園児30名をムラタビオトープの自然観察会に案内しました。最初に村田製作所のお姉さんからビオトープの説明を受けますが気持ちはそぞろの様子。

早速ビオトープでメダカ、ザリガニの観察をしました、皆真剣です。  
(報告 小根田)



## 竹林再生PJ



### 第3回 長岡京竹あそび“鎮魂の竹あかり” 3千本灯す!

10月8日秋晴れの中、「長岡京竹あそび」が長岡公園と長岡天満宮境内で開催され、昨年を大きく上回る来場者(主催者発表6,500人)で賑わった。

3回目の本年は、推進体制を新たに見直して3月に環境の都づくり会議など放置竹林整備団体を中心に連絡協議会を結成し、最終的に子育て支援団体、まちづくり団体、商店、企業、大学、行政など、総勢39団体という多数の参加があり、協働で実施した。昼は、竹を使った遊びや竹工作、模擬店など、夜は、東日本大震災への鎮魂の意を込めて3000本の竹灯りをともし、コンサートもおこなわれた。

(報告 江川)



コンサートの様子

竹あかりの文字を「竹あかりで」

## ★★★ 環境の都づくり会議のプロジェクトと連絡先 ★★★

プロジェクト名	内容	連絡先	TEL
里山再生PJ	森林ボランティア他	加藤	951-0933
環境教育PJ	環境教育ミーティング	西村	952-3718 =FAX
エコチームPJ	地球温暖化防止への取り組み	田原	953-1696
ビオトープPJ	ビオトープや川あそび	小根田	957-4081
花を咲かそうPJ	街角花いっぱい運動	湯川	952-5505
まち歩きPJ	市内を歩いて再発見(地元学入門)	柳沼	090-1954-9669
竹林再生PJ	竹林再生	渡辺	090-7755-9238

「YAHOO」又は「GOOGLE」で「環境の都ニュース」と検索しますと、きれいなカラー紙面の「環境の都ニュース」を楽しむ事が出来ます。是非、ご覧下さい。

「環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。  
協賛金 一口年間1000円(一口以上)

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。情報や「ニュース」の感想なども下記の事務局までお寄せ下さい。

【事務局】長岡京市環境政策推進課 〒617-8501長岡京市開田1-1-1  
電話：075-955-9542(直通) Fax：075-951-5410

Email：kankyouseisaku@city.nagaokakyo.kyoto.jp

### 編集後記 (文;山本)

・里山再生・竹林再生の両PJはニュースで時々報告するように山林間伐や放置竹林再生など現地に入り作業を行い、長岡京市の農林業において重要な戦力になっています。しかし、活動開始から数年が経過し、メンバー一人一人の体力面から戦力ダウンが心配されるようになりました。両PJ共に、更に戦力アップを図りたく、新たに参加していただける方を求めます。歓迎します。

・記事の配列が相変わらず単調な水平区切りです。一度は新聞の段組みの様な複雑な配列にしたいのですが、今の配列の方が「読みやすい」のではと思ってしまいこの通りです。実は作り易いからなのですが。